

国立循環器病研究センターに
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年8月27日

「デバイス感染における疣贅サイズと経皮的リード抜去の転帰：多施設後ろ向き研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	デバイス感染における疣贅サイズと経皮的リード抜去の転帰：多施設後ろ向き研究
所属(診療科等)	【心臓血管内科・不整脈科】
研究責任者(職名)	【和田 暢】
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2030年3月31日
研究の意義、目的	20mm以上の疣贅を有する心臓電気デバイス関連感染症に対する経皮的リード抜去術の有用性を明らかにすることを目的とした研究で、心臓電気デバイス関連感染における治療向上に貢献すると考えられます。
対象となる方	2010年1月1日から2025年3月31日の期間に札幌心臓血管クリニック及び共同研究機関で心臓電気デバイス関連感染症について医療を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、植込み型心臓電気デバイスから得られる測定値など
他機関への試料・情報の提供方法	パスワードを設定した電子メールにより提供します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、疣贅サイズと経皮的リード抜去、各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	信州大学医学部附属病院 (責任者:岡田綾子) 国立循環器病研究センター (責任者:和田暢) 仙台厚生病院 (責任者:伊澤毅) 大阪けいさつ病院 (責任者:南口仁) 北里大学病院 (責任者:深谷英平) 東京科学大学病院 (責任者:笹野哲郎)

研究代表者	主任施設の名称:札幌心臓血管クリニック 研究責任者:森田純次
問い合わせ先	氏名(所属・職名):【心臓血管内科・和田 暢】 電話:【06-6170-1070】

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。